



三ノ四

古今集和歌三鳥三草四木之傳授

稻負世鳥 夜部小鳥 百千鳥

亦の説

稻負背鳥 都々名早苗鳥 日續教鳥
百千人 日終鳥 夜更虫 喚子鳥

万葉集よ 稻負々々帝とかきし

又冷泉家 家隆の哥よ 稻ねせ名のこころの記あり
又冷泉家 家隆の哥よ 稻ねせ名のこころの記あり
又冷泉家 家隆の哥よ 稻ねせ名のこころの記あり



を陰中の陰を陰陰といふるありと云ふ事

よふところ 夜子の志 少芳 鬼月中の事と

神道秘歌 より中いふおるせあるたよりせハ
みとのまくとるんをいれうさるは

一陰動一陽をえ 陽動陰をこ 是は大極の理なり

一陰を生て陽又陰に交て和合するを以て万物成る

なり此陽をきけはみとのまくとるの理なりとの理なり

陽日天云陽は火精の集所陰水精の集所日陽中ノ陰

なり月ハ陰中の陽也日ハ金ノ性月ハ銀ノ性也

三草

之水のたし 五辛の内あさつき
又茴香といへり非也

川化草

をけりとも

白皇帝の秘書 一陰不生草木はなる玉氏の為と秘葬し
陰をうけ民をあるに陰ふの處ありこそまよふの徳と云ふ
て非陰ふとも

之水のおし

草の面には花よりやうなるもの石の草と
ありては集物の名のおみたる水のおもひなり
のこりていふことなり

月ハ初陰をいふは月名跡の月なりて

リ草草のおかりなりとの事と 是と上下との事なり

く水のおもひなり アサツキ
世俗に於て 水浄なるを 世間草心ハ

流澤なるまゝにして 高のし陽精を交る生の陽をこ抱る事
より三月より極陽傳の月なりし陽生なる由は陰氣陽干
奮て海水暫干け陽也在陽干加一陰を合せんり高陽を以て
合し穢穢の汚穢を去ては在在三日の事合ふ必けを以て
合らざるなり秘是し

川子子

古今集事物の名のあり

むえものまふにけりそふくすあうつらうもあひぬ心を
何れ血のたを治れ一子をせんとする時先をけけ何れ血の生
根を一女に必すなりし云ふ業穢解る事多物中血血をお
さめ安する生の位なり是天地人の三文の中ありて人を生はる

此を以て答ふて三章年の内なる

氣法正花

甲いもよて五葉なる花なりけり串子子一也戸ありし
女戸の妻たるなり

始て后妃ふるをりし 胎子初のお 天子夜の殿ふる入の時
寝殿の妻戸あけ花をすす 天子とをなほひ 則ち衣の
たの袂に入給ひ殿にけきりし花を伝ふるははら
せり少時后脱て右の袂に入給ひ殿に入るありて是日中の
風ありて傳るひいもをより子を多く生れけ給はるとしむ。
也五葉を木火土合水の五形を表は五葉の花形を以て
白子誕生なりは世のりなり 子形をそめ水でける物ハ
世界の中一物なり 故に理を以て秘とす

萬物を生ての四神 天一水を生て地ニ火を生て天ニ木を生て地ニ
人を生て天ニ土を生て

四木

前はあつたに正しく終
方を以て終とすこと

かし

西木をかくると
云はれ傳ふ

うの各木之國民の重宝とて天天子の^車神を御成はれり
りて神の柄を用成はれり外未くの百姓農具は用

蘇木

上古の色を深かきもの
如今に用也

柿

上古よりなりしは^柿は^柿に^柿用^柿之^柿合^柿と^柿を^柿柿
の^柿終^柿とい^柿せ^柿に^柿終^柿なり^柿と^柿本^柿と^柿せ^柿り

素

好ういことを^素衣^素を^素始^素なり^素万^素民^素の^素階^素を^素用^素又^素を^素
さ^素を^素防^素の^素た^素を^素け^素と^素なる^素禱^素請^素也^素心^素を^素行^素又^素し

此一巻

和歌の三神御守を^素家^素少^素も^素強^素し^素傳^素ら^素ん

傳ふ年^素若^素者^素心^素に^素見^素へ^素傳^素ら^素る^素此^素書^素は^素口^素傳^素ふ^素也^素し

はるま^素切^素み^素を^素え^素も^素之^素位^素柿^素布^素の^素中^素に^素あ^素ら^素し^素と^素人^素丸^素也^素

御守^素なり^素仍^素る^素也^素件^素

白皇居宮大御所依其後
白皇居宮大御所依其後

後成卿

白皇居宮大御所依其後
白皇居宮大御所依其後

其後卿

かきこ^素も^素あ^素る^素い^素し^素一^素の^素こ^素と^素の^素た^素を^素
の^素た^素を^素た^素る^素も^素あ^素ら^素し^素と^素人^素丸^素也^素

右和歌三鳥古今集の三草四木之傳者從

皇后宮右衛門佐基俊卿二條家藤原朝
臣俊成卿工被傳之所世秘傳也猥他言外
覽不可許者也

京極少將藤原勝俊朝臣

藤原姓大久保氏若水入道

晴雲軒貴秀入道幻海

享保龍飛亥夏五月

凡五書

宮本氏士の仰工隨て愚考おそ水以人今保真生
平け書風斗何の地よそり拜見中難方又い
り守正和物語といはきよりあしき世の

つらとるより師心を留るはすをうれり又つら
化の目より活用して立すびり第の書のははをふ
可論ふ道ゆ妙なる金言耳

享保龍飛亥夏

野俗 空花散人

右者きしつ浪 政徳右凡

弦法十夜也

志のそあはも癡人西あは林多ととく
ゆるは口ハ是福州秘多あははよく
志なる人こたふし秘はは是あは
ふの秘はえととおるえ

